

結成75周年記念誌

すべては子どもたちの
笑顔のために

尾道市PTA連合会

目 次

会長挨拶	P 1
祝 辞	P 2
学校・PTAの紹介	P 4
令和6年度にて閉校となる学校の紹介 ...	P 10
市P連5年間のあゆみ	P 12
実行委員長挨拶	P 15





尾道市PTA連合会
第25代会長

工藤 孝之

「75年」に想いを馳せて

～すべては子どもたちの笑顔のために～

結成75年。

その言葉を聞いたとき、「この尾道市PTA連合会を立ち上げた先輩方は、そのとき、どんな気持ちで子どもたちと向き合っていたんだろう」と想いを馳せました。

当時の子どもたちは笑顔であふれていたのかな。

子どもたちを想う保護者の皆さんも笑顔で活動していたのかな。

75年の月日を重ねた今、その気持ちは伺い知ることは難しいかもしれません。

しかしながら、この75年目の今年、私たち尾道市PTA連合会は、きっと当時と変わらないであろう、「子どもたちの笑顔のために、子どもたちが幸せとなるように、子どもたちの未来をつくる一助となるように」と、そんな想いを込めて、一年間、全身全霊全力で活動をしてまいりました。

どんなときでも「すべては子どもたちの笑顔のために」を活動の原点とし、私たち保護者も笑顔を忘れず、誰かにやらされる活動ではなく、誰もが参加したくなる活動を追求し、一年間、様々な活動を実施しました。

コロナ禍、誰もが経験したことのない絶望とも思えるような日々の中、今こそPTAの本当の価値が問われる時と、役員にて知恵を出し合い、コロナ禍だからこそ出来ることをと、主催として開催にまで辿り着いた『星空映画祭』。

開催初年度の令和4年度は17ヶ所の学校・PTAに賛同いただき、5,000人以上の親子に会場いただきました。

コロナにより久しく見ることが難しかった子どもたちの笑顔の輪が、再び広がり始めた瞬間でした。その活動も3年目を迎え、今年も多くの学校・PTAで独自開催し、子どもたちに楽しい経験をたくさんつくってくれています。

また、昨年からはじめた「原田芸術文化交流館やまそら」を舞台にした1泊2日の体験活動の『学校へ泊まろう！』も、今年も400人を超える人たちにご応募いただき、約40人の保護者ボランティア、9人の高校生ボランティアとともに、当選した130人の小中学生とともに忘れられない充実した2日間を過ごすことができました。

そして、今年。

75周年記念特別企画として、『観劇へ行こう！2024～感動体験！劇団四季バスツアー！～』を開催。

この企画はPTAでは初となるであろう、クラウドファンディングにチャレンジし、「子どもたちへ本物の芸術体験を！」という想いに共感してくださる皆さんから、70万円を超える支援金をいただき、市内小中学生120名の子どもたちを無料招待にて、実施することが出来ました。

携帯メディアにて情報があふれる時代だからこそ「最高峰のエンターテインメントミュージカルを肌で体感してもらうこと」「人間の無限の可能性を知ってもらうこと」「地域と学年を越えた仲間と感動を共有すること」を目的としたこの活動は、公演終了後の子どもたちの興奮した口ぶり、キラキラ輝く瞳を見ただけで、十分に答えをもらえたように思います。

これらすべての活動は、決して私たち役員だけで成し遂げたわけではありません。

そこには、学校の先生方、地域の方、行政、教育委員会、そしてなにより、子どもたちを愛する保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそだと思っています。

これからも、懸命に生きる子どもたちを、ともに笑顔で支えていただけたら幸いです。

無限の可能性に満ち溢れた子どもたちの未来。

PTAには子どもたちの未来の笑顔をも創る力があると信じています。

この75周年という1年間、またこれまでの75年間の皆様のご尽力に心より感謝し、御礼の挨拶とさせていただきます。

最後に

いつも私たちにたくさんの力をくれる子どもたちへ

あなたの笑顔が見たくて、私たちは仕事も家事も頑張れます。

このPTA活動もきっと同じです。

あなたがここにいてくれたからこそ出会えた「出会い」もたくさんあります。

私たちに幸せをくれてありがとう。

いつまでも、ずっと愛しています。



祝 辞



尾道市長
平谷 祐宏

尾道市PTA連合会結成75周年をお祝い申し上げます。

尾道市PTA連合会におかれましては、結成以来、子どもたちの教育環境の改善や安全に関する活動、また会員同士の連携など、その時代のニーズや地域の実情を踏まえた様々な活動を展開してこられました。この間の歴代会長様をはじめ、関係の皆様方のご尽力に対し、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

近年、少子化、核家族化、情報化、国際化など社会の変化とともに、子どもたちを取り巻く環境も大きく変容を遂げています。多様化する課題を基に、地域の活力低下も懸念されているところです。

そうしたなか、本市においては、PTAの皆様や市民ボランティアによる登下校時の安全パトロールや付き添い、あいさつ運動の実施など、地域ぐるみで子どもを見守り、育てていく体制づくりが着実に進められていると実感しています。

これからも、学校・家庭・地域が協働し、地域全体で「地域の教育力」を高めていくことが重要です。「人は人を浴びて人になる」という言葉があります。まさに、人は多くの人と関わることで多様な価値観や知識を得て、さらに豊かな人間性や社会性を育み、人としての学びを深めていくのだと思います。皆様方には、地域の方々と協働して、共にPTA活動の一層の活性化を図っていただきたいと存じます。

尾道に生まれ、育った子どもたちが大人になったとき、ふる里尾道を愛し、誇りに思えるまちにすするため私も全力を尽くして参りますので、皆様方の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、この記念誌発刊にあたりご尽力されました皆様へ深く敬意を表しますとともに、尾道市PTA連合会の益々のご発展と会員の皆様の一層のご活躍を祈念申し上げ、祝辞といたします。

祝 辞



尾道市議会
議 長
吉和 宏

尾道市PTA連合会が結成75周年を迎えられ、記念誌を発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

貴会は、結成以来、力強い結束力と実践によって、教育環境の向上や保護者の研修事業など、数多くの実績を積み重ねてこられました。これもひとえに、歴代会長のリーダーシップや会員の方々の情熱と努力の成果であると、深く敬意を表するものであります。

また近年では、「学校へ泊まろう!」「観劇へ行こう!」等、子どもの成長にとって重要な体験活動を新たな事業として取り組まれ、好評であったとのこと、大変喜ばしく思っております。

さて、子どもたちを取り巻く環境は、価値観の多様化、核家族化、地域の人間関係の希薄化など大きく変化しており、家庭の教育力の低下、いじめ、不登校や犯罪の低年齢化といったことが起きています。子どもたちが社会的に自立し、たくましく生き抜いていく力を育てていくことは、私たち大人に求められている最も重要な課題であり、使命であります。そのため、地域・学校・家庭が、それぞれの役割と責任を自覚して連携・協働し、積極的に子どもたちを育む取組に参画していくことが求められています。このことから、地域・学校・家庭をつないでいるPTAの方々の役割は、これまでも増して重要になってきております。

今後においては、結成75周年を契機にさらに会員相互の連携を強められ、未来を担う子どもたちの育成に取り組まれますようお願い申し上げます。

終わりに、貴会のますますのご発展と、会員各位の今後のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



広島県PTA連合会
会 長
岩本 義樹

尾道市PTA連合会の結成75周年を心からお祝い申し上げます。

また、会員の皆様におかれましては、日頃より広島県PTA連合会に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことを、心より感謝申し上げます。

75年前に創立された尾道市PTA連合会は、地域の教育環境を支える重要な存在として、その役割を果たしてきたことと存じます。「すべては子どもたちの笑顔のために」を理念にこの長きにわたる歴史の中で、多くの方々の尽力と協力があってこそ、現在のような素晴らしい組織が築かれてきたことに、深く感謝の意を表します。

昨年は尾道市の子どもたちを、劇団四季の観劇に連れて行かれるということをお聞きし、広島県PTA連合会からも県内の子どもたちを一緒に行かせてもらえないかが相談させていただいたところ、快くお受けいただき、誠にありがとうございました。私もご一緒させていただきましたが、子どもたちの笑顔のために皆様が一致団結し、ご活躍されていたのを目の当たりにしてすぐ感動いたしました。

これからの未来に向けて、広島県PTA連合会は尾道市PTA連合会と共に力を合わせていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

これからも、尾道市PTA連合会が地域の教育と子どもたちの未来を支え続けることを祈念し、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。そして、子どもたちの笑顔のために、今後の更なる発展を心から期待して、お祝いの言葉とさせていただきます。



広島県東部教育事務所
所長
太田 耕樹

祝 辞

尾道市PTA連合会の結成75周年を心からお慶び申し上げます。

貴連合会におかれましては、長きにわたり、家庭・学校・地域社会の緊密な連携のもとに精力的に教育活動を展開し、多くの成果を上げてこられました。今なお、家庭・地域の実情や時代のニーズを踏まえ、子供たちの笑顔に繋がる活動や家庭の悩みに寄り添った研修会等を積み重ねておられますのも、会員皆様の子供たちに対する深い愛情と教育活動への熱意、そして貴会の組織力の高さの賜物であると深く敬意を表します。

「人生100年時代」において、激しい変化が止まることのない時代を生き抜く子供たちには、生涯にわたって主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力を身に付けることの重要性が増すといわれています。しかしながら、子供たちは多様化し、学ぶ意義を見いだせず、主体的に学びに向かうことができない子供の増加等も課題となっています。そのため、子供たちには、社会とのつながりの中で学び、自分の人生や社会を自分の力でよりよくできるという実感をもたせることが重要であり、学校においては、目指すところを社会と共有し、家庭や地域との連携・協働の下で子供たちの成長を支えていくことが求められています。

県教育委員会といたしましても、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を目指して、全ての児童生徒の「主体的な学び」を促す教育活動である「学びの変革」の推進に取り組むとともに、新たな時代にふさわしい教育の在り方についても吟味、検討を重ねてまいります。

今後、学校と家庭、地域社会との連携・協働が一層重視される中において、会員皆様におかれましては、引き続き、これらをつなぐ架け橋となつていただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会のますますの御発展と会員皆様の御健勝と御活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



尾道市教育委員会
教育長
宮本 佳宏

祝 辞

尾道市PTA連合会の結成75周年誠におめでとうございます。

連合会が結成されて以来、学校の教育環境の充実や子どもたちの安全確保、家庭の教育力向上のための取組や子どもたちの体験活動の一環として「学校へ泊ろう」事業など、時代に合わせた数多くの実績を積み重ねてこられました。こうした取組に、改めて敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

本市では、令和4年3月に策定した尾道教育総合推進計画に基づき、「尾道に愛着と誇りを持ちグローバルに躍動する人づくり」をスローガンに、様々な教育施策を展開しているところでございます。

近年の子どもたちを取り巻く環境は、少子高齢化の進行、グローバル化、ICTをはじめとする技術革新など、将来の予測困難な時代となっています。教育委員会としましては、こうした時代を生き抜くために、子どもたちの「生きる力」を伸ばし、夢や志を持ちつつ、社会の激しい変化に対応し、自立して主体的に活動し、未来に向けて新たな価値を創造できる力を育んでいきたいと考えております。このため、学校教育を通じて、「尾道版『学びの変革』推進事業」において、児童生徒の意欲を引き出し、主体的・対話的で深い学びを実現するための取組を進めております。

また、社会教育を通じて、家庭と地域の教育力の向上にも取り組んでいますが、これらの取組は、PTAの皆様との協働により更に実現に近づくものと思っております。

PTAは子どもたちとの関わり合いや保護者間のネットワークづくりを通じて、学校、家庭や地域との連携を図り、総合的な教育力を高めていくために大切な役割を担っておられ、今後もその活動成果が大いに期待されているところです。

貴連合会におかれましては、75周年という節目を機に更に連携・協働を深められ、実践活動を推進されますようお願い申し上げます。

結びに、尾道市PTA連合会の益々のご発展を祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



尾道市PTA連合会
OB会会長
新田 浩正

祝 辞

尾道市PTA連合会が結成75周年を迎えられ心からお祝いを申し上げます。

昭和25年の結成以来、尾道市内の子供の学びと育みについて、家庭と学校を結びつける役割を担い、社会の変化や時代の変遷の中でひたむきに取り組んできた諸先輩や関係者の皆様、現役の皆様のたゆまぬ努力と熱意に対して尊敬の念でいっぱいです。

昨今の少子化の進展によって、子育ての環境が大きく変化しております。子育ての環境を整えた自治体では若い世帯が増加し結果として街が活性化しているとの記事を見かけます。学校、地域との連携だけでなく尾道市や教育委員会との連携によって、保護者が期待するより良い子育て環境の実現に向けた取り組みを推進する事はPTA連合会の命題と考えます。

人は子供を授かって親になります。いろんな子育ての方法がありますが、親として初めての経験です。子供の数だけ子育ての方法がありますが、子育ての方法には正解がありません。

尾道市には山があり、海があり、いろんな地域、文化があります。色々な学区、地域の皆様との交流から得られる子育ての知識と経験は、子育てに悩む方々には大変貴重な情報と思えます。そのような環境を共有できる事はPTA連合会の存在価値だと考えます。

親の学びについて引き続き活動を推進し、尾道市内それぞれの地域性や文化を大切にし、「子育て親育ち」の活動を実践して「明るくたくましい尾道っ子」を育てて頂きたいと考えます。

私たちOB会のメンバーも尾道市PTA連合会の結成75周年を契機とし、現役世代の皆さんと一緒に子育て環境の向上に協力していくことの決意を新たにします。

尾道市PTA連合会のさらなる発展とご活躍をご祈念申し上げ、祝辞といたします。



尾道市立栗原小学校・育友会

●所在地	尾道市西則末町11番16号
●学校設立	明治7年
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	横松 和義
●令和6年度 PTA会長	細谷 崇
●http://www.kurihara-sho.net/	

●沿革史：明治7年、明光寺境内に仮校舎をおく。明治21年、現在地に校舎を新築移転。明治33年、栗原村立栗原高等小学校の校舎新築落成。明治42年、栗原尋常高等小学校と改称。昭和16年、尾道市立栗原国民学校と改称。昭和22年、尾道市立栗原小学校と改称。

●特色：「自分と友達を大切にすること」を教育活動の基盤に据えて、教育活動を展開している。児童の自己指導能力を高め、共感的人間関係づくりを深める取組として、異学年集団による学びや遊びの機会を充実させている。8つの委員会から構成された育友会活動は、諸行事を中心に、教職員と協働参画しながら活発に行われており、学校の教育活動や行事に保護者や地域の積極的な支援があることも児童の学びの環境づくりに好影響を及ぼしている。



尾道市立山波小学校・育友会

●所在地	尾道市山波町1630
●学校設立	明治6年
●PTA設立	昭和21年
●令和6年度 学校長	宇江 裕明
●令和6年度 PTA会長	川上 真司
●https://samba-e.jimdofree.com/	

●沿革史：明治6年小田県官下第2中学校区87番小学校と称し創立。大正10年高等科を併置し山波尋常高等小学校と改称。昭和14年尾道市に合併し尾道市山波尋常高等小学校と校名変更。昭和16年尾道市山波国民学校、昭和22年尾道市立山波小学校と校名変更。

●特色：山波小学校は、昨年150周年を迎えました。私達育友会は、子ども神楽をはじめ、餅つき神事、とんどなど山波地区ならではの伝統行事を、地域の方々にご協力いただき、子ども達に体験してもらおう活動をしています。今後も古き良き伝統を継承する一方、今の時代に合う形を模索し、山波小学校に関わる全ての方々と“一枚岩”すなわち“一丸”となり、子ども達へ郷土愛を育むという共通の目標を達成するために努めてまいります。



尾道市立三成小学校・PTA

●所在地	尾道市美ノ郷町三成1042番地2
●学校設立	明治8年
●PTA設立	昭和26年
●令和6年度 学校長	山口 喜之
●令和6年度 PTA会長	井田 和宏
●http://www.onomichi.ed.jp/minari-e/	

●沿革史：明治8年4月、「善誘館」を現在の才原地区に移し「三成小学校(当時三成学校)」と改称された。その後、尾道市との合併により昭和29年3月「尾道市立三成小学校」と改称された。平成に入り現校舎となり、現在に至っている。

●特色：本校は尾道市北部地区の入り口に位置し、豊かな自然と銀山街道の通過点として数々の歴史あふれる町並みの中で、児童は生き生きと学び、育っています。学校教育目標である「未来に向かい 自ら学び 行動する 三成っ子の育成」をめざし、地域の中で「自然体験」や「歴史探訪」「箏の演奏」「稲作体験」「太鼓の演奏」等、様々な体験活動を通して、「努力・感動・感謝」をモットーに、学ぶ楽しさ、自ら発信する力、そして地域を愛する心を育てています。



尾道市立吉和小学校・育友会

●所在地	尾道市東元町26-3
●学校設立	明治6年9月15日
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	福島 健作
●令和6年度 PTA会長	岡田 哲明
●http://www.onomichi.ed.jp/yoshiwa-e	

●沿革史：明治6年吉和町字吉浦西本願寺及び字秋元妙音寺に青藍舎と称して創立。明治20年吉和尋常小学校と称す。昭和22年尾道市立吉和小学校と校名変更。昭和32年校歌制定。

●特色：本校は、JR沿線では尾道市の一番西に位置する小学校です。吉和は素晴らしい食文化を持つ町で、南に「吉和漁港」、北に「鳴滝山」を臨む、自然豊かな環境にあります。この町を誇りに思い、また自分も誇れるものを見つけ大きく育ってもらいたいと願いながら、育友会では地域の方々と共に活動しています。長年続けてきた事業の一つに、鳴滝清掃・植樹活動があり、植樹は今年度で47周年を迎えました。美しい山と清らかな川が豊かな海を育みます。私達はこれからも、誇りをもって命のリレーを繋ぎ継承してまいります。



尾道市立日比崎小学校・PTA

●所在地	尾道市日比崎町12番1号
●学校設立	昭和28年
●PTA設立	昭和28年
●令和6年度 学校長	石原 政信
●令和6年度 PTA会長	加度 亮平
●http://www.onomichi.ed.jp/hibizaki-e/	

●沿革史：昭和28年4月1日、この地の通称名から「日比崎小学校」として開校した。平成4年3月に、小学校校舎と給食室・屋内運動場を含む4階建ての現校舎が完成した。校舎には時計塔がそびえ、夜にはライトアップされた美しい姿を見せ、町のシンボルとなっている。

●特色：本校では、学力向上と学級経営は両輪であるという共通認識のもと日々の授業作り・児童の「共同体感覚」を高める実践を積み重ねている。国語・外国語学習で育成されるコミュニケーション能力を土台とし「授業展開の工夫により対話を通じ児童が自らの考えの変容を自覚できる授業を創造することができるであろう」という仮説のもと研究を進めている。PTA活動は執行部を中心に8つの委員・係で活動に取り組んでいる。スポーツ、芸術に関するクラブ活動も盛んで学校・保護者・地域が連携し教育活動を行っている。



尾道市立美木原小学校・育友会

●所在地	尾道市美ノ郷町本郷604
●学校設立	平成29年
●PTA設立	平成29年
●令和6年度 学校長	石本 美喜
●令和6年度 PTA会長	辻川 季巳栄
●http://www.onomichi.ed.jp/mikihara-e/	

●沿革史：平成29年4月木頃小学校・木ノ庄西小学校・木ノ庄東小学校・原田小学校の4校を統合し、美木原小学校として木頃小学校地に開校、同時に育友会発足。

●特色：学校教育目標は「自ら学び、考え、発信する子供の育成」。「学校まるごと図書館」をキャッチフレーズに、NIE教育、図書館教育を特色とし、小規模校の良さを生かして年間を通して縦割り班活動にも取り組んでいます。育友会活動は、広報部、企画部、体育部、子ども会育成部、教育部があり、学年ごとに配置・所属し活動しています。学校・保護者・地域が連携し、子ども達の健やかな成長に取り組んでいます。





尾道市立高須小学校・PTA

●所在地	尾道市高須町3493番地
●学校設立	明治6年
●PTA設立	昭和24年
●令和6年度 学校長	豊田 浩矢
●令和6年度 PTA会長	工藤 孝之
●http://www.onomichi.ed.jp/takasu-e/	

●沿革史：明治6年、高須横路の普門寺をもって仮校舎とする。以後、小学須静校(明治7年)、沼隈郡第六尋常小学校(同20年)、高須国民学校(昭和16年)、高須村立高須小学校(同22年)、尾道市立高須小学校(同30年)と改称。令和4年度には創立150周年を迎え、現在に至る。

●特色：約740名の個性あふれる児童の笑顔が輝く高須小学校。そのPTA活動は「すべては子どもたちの笑顔のために」を合言葉に、子どもたちに「楽しい！」を実感してもらえ活動も大人も楽しみながら実践しています。令和3年度から県内でも先駆けとなる、PTA活動のボランティア制度を実現し、その活動は同年、尾道市教育委員会より表彰を、令和4年度には優良PTA文部科学大臣表彰の全国表彰を受賞。さらには新聞・テレビなど数々のメディアで紹介され、学校の枠を越え、現在も県内外へと輪が広がっています。



尾道市立西藤小学校・PTA



●所在地	尾道市西藤町1500番地
●学校設立	明治7年
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	本藤 展康
●令和6年度 PTA会長	熊野 真綾
●http://www.onomichi.ed.jp/nishifuji-e/	

●沿革史：明治7年啓蒙所として万福寺に開校。明治23年西村尋常小学校と改称。大正10年高等科を併設し西村尋常高等小学校と改称。昭和16年西村国民学校と改称。昭和22年西村立西藤小学校と改称。昭和30年尾道市立西藤小学校と改称。昭和40年校歌制定。

●特色：本校は、市内屈指の広さを誇る運動場と、緑豊かな環境で、児童は自然を感じながら学校生活を送っています。近年、西藤町では住宅地開発に伴い児童数も増加し、学校全体が活気に満ちています。今年度から高西中校区コミュニティ・スクールが始動し、これまで以上に地域・保護者からの思いをつなぎ、児童の成長を支えます。今年度は、本校の創立150周年を記念し、学校・PTA・保護者・地域が一体となった記念行事を実施しました。PTA活動の環境整備交流では毎回200名以上が参加し、交流を深めています。



尾道市立浦崎小学校・PTA



●所在地	尾道市浦崎町甲2246番地
●学校設立	明治6年
●PTA設立	昭和24年
●令和6年度 学校長	小川 咲子
●令和6年度 PTA会長	佐藤 哲久
●http://www.onomichi.ed.jp/urasaki-e/	

●沿革史：明治6年、第3大区沼隈郡小14区1番小学校として開校。その後6度に渡る改称の後、昭和32年、尾道市との町村合併により尾道市立浦崎小学校となる。平成18年には明治35年に分離していた戸崎小学校と再統合。令和5年度には創立150周年を迎えた。

●特色：校区は尾道市最東端の地、瀬戸内海沿いの沼隈半島にある。古くから沼隈郡教育推進の中心的役割を果たしてきた浦崎地区は、教育に対する期待と関心が非常に高い。本校では、豊かな自然環境とPTA会員・地域住民の熱意により、稲作・里海学習等の体験活動を推進している。また、戦前、平和と友情の使者としてアメリカから贈られた「青い目の人形ドリッス」を通して国際理解教育に取り組むなど、特色ある学校づくりを進めている。



尾道市立向東小学校・PTA



●所在地	尾道市向東町8670番地
●学校設立	明治6年
●PTA設立	昭和24年
●令和6年度 学校長	丸山 裕子
●令和6年度 PTA会長	鑑廣 徹
●http://www.onomichi.ed.jp/mukaihigashi-e/	

●沿革史：明治6年向島東学校として創立。その後、昭和22年、向島東小学校へ、昭和28年、向東町立向東小学校へ、昭和45年、尾道市立向東小学校と改称。昨年度創立150周年を迎えた。学校教育目標は「確かな学力と豊かな心を持ちたくましく生きる子供の育成」

●特色：向東小学校は、平成25年4月に「コミュニティ・スクール」の指定を平成30年度から向東中学校との「小中連携型コミュニティ・スクール」がスタートしました。当校では学校と地域が協働し、児童生徒の学力を伸ばし、豊かな心を育み、地域や社会に貢献できる力を育てることを目指し、「向東小・中学校連携教育」を推進しています。PTA活動では、執行部を中心に子供が楽しく笑顔で活動を行えるように無理のない取組みを進めています。



尾道市立栗原北小学校・育友会



●所在地	尾道市栗原町11750
●学校設立	昭和55年
●PTA設立	昭和56年
●令和6年度 学校長	神原 雅彦
●令和6年度 PTA会長	寺本 裕樹
●http://onomichi.ed.jp/kuriharakita-e/	

●沿革史：昭和55年、栗原町北部（JR新尾道駅以北）地域の開発により住宅団地となり、児童の増加に伴い、隣の学校である栗原小学校から分離独立し、栗原北小学校として開校した。今年度、創立45周年を迎える。

●特色：「人は人の中で人になる」の校訓のもと、学校教育目標「関わりの力をもち、自分を表現できる子供の育成」を目指して、教育活動を進めています。令和2年度より、「ファミリー活動による関わりの力の創出」、「クラス会議による自治的風土の確立」、そして、国語科における「フレームリーディングによる読解力の向上」の3つを主軸とし、児童の豊かな心の醸成に繋がっています。また、育友会活動では、子供達が楽しめる企画づくりや通学路のパトロール等、保護者と教職員が協力して活動を行っています。



尾道市立御調中央小学校・PTA



●所在地	尾道市御調町市1113番地
●学校設立	平成15年
●PTA設立	平成15年
●令和6年度 学校長	小出 真里
●令和6年度 PTA会長	野田 育美
●http://www.onomichi.ed.jp/mitsugichuo-e/	

●沿革史：本校は平成15年4月、129年の歴史を持った菅野・市・綾目・大和の4つの小学校が統合、さらに平成20年4月には上川辺小学校と統合し、新たな学校文化を創造するためのスタートをきった。

●特色：本校の校庭には、樹齢250年を超えるたくましく伸びる「けやき」の大木がある。本校ではこの「けやき」を児童・教職員の姿になぞらえ、自立する力と共生する心を培う教育活動を推進している。5つの地域の特性を生かした教育活動や「みあがりおどり」等の文化の継承、6年生全員で編成する金管バンドは本校の誇れる伝統である。「自分と友達を大切に」「授業時間45分を大切に」「日本一の挨拶ができる学校」を合言葉に、夢と志を抱く児童の育成を目指している。





尾道市立御調西小学校・PTA

●所在地	尾道市御調町丸門田2 1
●学校設立	平成16年
●PTA設立	平成16年
●令和6年度 学校長	村上 典代
●令和6年度 PTA会長	福田 賢治
●http://www.onomichi.ed.jp/mitsuginishi-e/	

●沿革史：平成16年今津野小学校・河内小学校が統合し御調町立御調西小学校開校。平成17年市町村合併により尾道市立御調西小学校に校名変更。令和5年度から御調中学校、御調中央小学校、御調西小学校の3校で御調地区学校運営協議会がスタートした。

●特色：現在の児童77名、職員19名の小規模校である。米作りやみあがり踊り（広島県無形民俗文化財）の伝統文化の継承等、学校と家庭、地域が一体となった教育を行っている。子ども会等を中心とした運動部の活動も盛んで、諸試合や大会において児童が練習の成果を發揮している。PTA活動は、会長を中心に、部長・副部長（教養部・広報部・環境整備部）が活動を推進している。月一回運営委員会を開催し、活動計画の詳細について協議している。



尾道市立高見小学校・PTA



●所在地	尾道市向島町2 1 1 6 番地3
●学校設立	昭和51年
●PTA設立	昭和51年
●令和6年度 学校長	金子 恵子
●令和6年度 PTA会長	高野 哲成
●http://www.onomichi.ed.jp/takami-e/	

●沿革史：高見小学校は昭和51年江奥（えのおく）小学校と立花（たちばな）小学校を統合し、向島町立高見小学校として創立された。平成17年3月、市町合併により尾道市立高見小学校となった。令和7年に創立50周年を迎える。

●特色：高見山や干汐・立花海岸など、自然に恵まれた豊かな環境を生かし、地域の皆様のご支援のもと、無人島（江府島）探検、高見山太鼓、海浜清掃、磯の生物調査などの特色ある教育活動が行われています。また、PTAは子供たちの学びを支えるとともに、会員相互の交流の場として、積極的な参加によって運営されています。令和7年は創立50周年。新しいキャラクター「たかみどん」も登場しました。今後も「楽しく、無理なく、ためになる活動」に、全会員で取り組んでいきます。



尾道市立向島中央小学校・奨学会



●所在地	尾道市向島町5 9 7 9
●学校設立	明治5年
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	金沢 民恵
●令和6年度 PTA会長	平尾 友哉
●http://www.onomichi.ed.jp/mukaishimachuo-e/	

●沿革史：明治5年江ノ奥神宮精舎を借りて善義塾として創立。昭和22年向島西村立向島西小学校と改称。昭和25年向島町立向島中央小学校と改称。新館一棟を増築。平成16年尾道市立向島中央小学校と改称。平成28年現校舎建立。

●特色：本校のPTAは「奨学会」と称し、広報部・文化部・体育部が組織され活動している。文化部はベルマーク整理や教育講演会の開催、広報部は年2回広報誌「さぎなみ」の発行や制服等のリサイクル活動、体育部は市P連ソフトバレーボール大会に関するとりまとめ等を行っている。また、本校奨学会は学校行事や「ええじゃんSANSO+がり」、「尾道灯りまつり」等の活動を支え、子どもの成長に向けて、保護者同士の結びつきを深めている。



尾道市立三幸小学校・PTA



●所在地	尾道市向島町1 2 6 1 7 番地
●学校設立	昭和62年
●PTA設立	昭和62年
●令和6年度 学校長	藤井 弘之
●令和6年度 PTA会長	本村 勝信
●http://www.onomichi.ed.jp/miyuki-e/	

●沿革史：昭和62年4月2日開校式 第1回PTA総会則承認

- ・平成8年 創立10周年記念事業
- ・平成17年 尾道市と合併
- ・平成18年 創立20周年記念事業

●特色：三幸小学校は今年で開校38周年を迎えます。特色あるPTA活動としては、地域の方々に講師を迎え様々な体験を通して、地域の方と親子でふれあう「ふれあい参観日」があります。また、学級委員会では学級懇談会の運営、「たくましい三幸っ子」を育てる活動として、各学年で学期ごとにテーマを決め、親子読書や体力づくり等の取組を積極的に進めています。



尾道市立因島南小学校・PTA



●所在地	尾道市因島土生町1372番地1
●学校設立	平成27年4月
●PTA設立	平成27年4月
●令和6年度 学校長	齋藤 朋弘
●令和6年度 PTA会長	廣康 千春
●https://innoshimaminami-e.jimdofree.com/	

●沿革史：平成27年因島南地区3小学校「土生小学校」「田熊小学校」「三庄小学校」が統合し、旧土生中学校を改築し、体育館、プール、単独給食調理場などを新設して開校し、併せてPTAも発足した。令和6年度に10周年を迎え、記念式典や記念イベントを行った。

●特色：因島南地区3小学校「土生小学校」「田熊小学校」「三庄小学校」を統合した新設校である。それぞれの校名の頭文字を使い、「みらいへ はばたけたくましく」を校訓としている。また、やるときは集中してやるといった「静」と「動」を意識した教育活動を行っており、特に「無言掃除」は本校の伝統となっている。また、小早レースや自転車イベント、水軍太鼓等を通じて、地域の行事に参加し、地域の方々と交流することで、豊かな心の育成に努めている。



尾道市立因北小学校・PTA



●所在地	尾道市因島中庄町3 3 2 2
●学校設立	明治5年
●PTA設立	昭和42年
●令和6年度 学校長	渡辺 住珠子
●令和6年度 PTA会長	杉原 麻衣子
●http://www.onomichi.ed.jp/inhoku-e/	

●沿革史：明治5年（1872）鏡ノ浦小学校「開郷舎」を開設。本村に「久敬舎」を開設（前身）。外浦学校を開設。昭和42年（1967）中庄小学校、外浦小学校、鏡浦小学校を統合し、因島市立因北小学校を設置する。

●特色：本校は、海と山に囲まれた自然豊かな学校である。地域には、日本遺産に選ばれた村上海賊の記憶を伝える水軍城、囲碁の本因坊秀策記念館がある。また、卒業生には作家の湊かなえ、歌手のポルノグラフィティがおり活躍している。PTA活動としては、運動会や発表会などの学校行事の支援だけでなく、水軍祭り「小早レース」出場に向けた運営や因島灯りまつりの準備・見守りなど地域行事に積極的に関わっている。



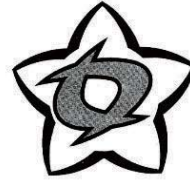


尾道市立重井小学校・PTA

●所在地	尾道市因島重井町3309番地1
●学校設立	明治6年10月
●PTA設立	昭和23年4月
●令和6年度 学校長	曾根 奈美枝
●令和6年度 PTA会長	野田山 晃和
● https://shigai-e.jimdofree.com/	

●沿革史: 明治6年、振徳学舎として善光寺内に設置、明治8年に重井小学校と改称。昭和28年「因島市立重井小学校」と校名変更、平成18年に「尾道市立重井小学校」の名称となる。「培根達支」を建学の精神とし、令和6年度まで149年の歴史を刻んできた。

●特色: 尾道市の南部にある因島の北部に位置し、結成60周年を迎える伝統のトランペット鼓隊の取組を軸に、上級生・下級生の仲も良く、校区全体の児童・生徒のつながりも深い学校です。令和6年度には、広島県食育指導功労者表彰を受賞しました。これは、地域の特産物である「ワケギ」を使った15年間にわたる取組が評価されたものです。PTAとして子供たちや学校を支える活動を積極的に行っています。



尾道市立瀬戸田小学校・PTA

●所在地	尾道市瀬戸田町沢200番地1
●学校設立	平成8年
●PTA設立	平成8年
●令和6年度 学校長	山崎 千佐
●令和6年度 PTA会長	原田 充明
● http://www.onomichi.ed.jp/setoda-e/	

●沿革史: 平成8年、瀬戸田町北側5校(高根小、瀬戸田小、西小、北小、名荷小)が統合。現在の位置に瀬戸田小学校創立。タイ王国カセサート大学付属校と15年間に渡って交流事業を行った。平成25年、南小、東生口小を統合。生口島・高根島全域が校区となる。

●特色: 本校の周囲には、豊かな自然と共に、平山郁夫美術館、耕三寺博物館、ベル・カントホールといった文化施設や、国宝である向上寺三重塔などの文化財があり、文化の薫り高い地域でもある。平成30年度から瀬戸田中学校、県立瀬戸田高等学校との連携教育に取り組み、令和元年からは毎年「瀬戸田小中高合同研究会」を開催している。令和3年度から始まった小中連携型CSの取組が評価され、令和6年度には「文部科学大臣賞」を受賞した。



尾道市立栗原中学校・PTA

●所在地	尾道市東則末町9番53号
●学校設立	昭和22年4月1日
●PTA設立	昭和22年10月6日
●令和6年度 学校長	本安 公範
●令和6年度 PTA会長	松原 正侍
● http://www.onomichi.ed.jp/kurihara-j/	

●沿革史: 昭和22年栗原小学校の一部を借り開校。同年10月PTA結成。昭和26年校歌発表。昭和43年新校舎第1期工事完了。昭和46年体育館完成。昭和56年新館工事完了。平成27年栗中オリジナルキャラクター作成。令和元年校舎大幅改修工事開始。

●特色: 学校目標「一生懸命がすばらしい」～夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く子どもの育成～を掲げ、活気があり、勉強も部活動も一生懸命頑張る学校です! また「挑戦～栗原中チャレンジ～」を合言葉に、お互いが切磋琢磨しながら成長していくことをモットーにしています。特に部活動や学校行事において、その成果が表れており、学校、PTAが一体となり頑張る生徒達を見守り、様々な形で応援、支援しています。



尾道市立吉和中学校・PTA

●所在地	尾道市吉和町4600番地
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	佐野 元章
●令和6年度 PTA会長	榊原 靖貴
● http://www.onomichi.ed.jp/yoshiwa-j/	

●沿革史: 本校は、昭和22年新学制により尾道市立吉和中学校として新設された。当初は、小学校や高校に仮住まいし昭和27年、新校舎落成を迎えた。現在地には、昭和48年に移転し現在に至る。開校当初より、地域との繋がりが深い学校である。

●特色: 今から37年前(昭和62年)、生徒指導の一環として和太鼓の取り組みが始まりました。吉和地区にある広島県無形文化財の「吉和太鼓踊り」の保存会から太鼓をお借りしての練習から始まりました。額いっぱい汗・真剣な眼差し、最初の披露の運動会では、生徒のやりきった「充実感」、褒められる「うれしさ」で瞳は涙いっぱいでした。その伝統は、「吉中太鼓」として受け継がれ、間もなく40周年を迎えようとしています。日々の練習を大切にしながら、学校行事や地域行事等で沢山のの方々にご覧頂いております。



尾道市立日比崎中学校・PTA

●所在地	尾道市日比崎町23番1号
●学校設立	昭和34年
●PTA設立	昭和34年
●令和6年度 学校長	小土井 道夫
●令和6年度 PTA会長	杉 裕子
● http://www.onomichi.ed.jp/hibizaki-j/	

●沿革史: 昭和34年栗原中学校の一部を仮校舎として開校。昭和35年新校舎落成式・校歌制定。昭和42年体育館兼講堂落成式。平成23年校舎増築工事(新館)。現在に至る。

●特色: 本校は、尾道駅より北西に歩いて20分、尾道水道を見おろす赤船の丘に位置する。現在PTA組織には、会長1名、副会長3名、書記2名、会計1名、監査2名の計9名の役員と、2つの常任委員会(体育・広報)と学年委員会がある。令和に入り、2年には文部科学大臣賞優秀教職員表彰受賞。令和4年には広島県ユネスコESD×SDGs大賞受賞。令和5年には広島県学校安全表彰受賞、令和6年には全国健康づくり推進学校表彰優秀校となる。



尾道市立美木中学校・育友会

●所在地	尾道市美ノ郷町2258番地
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和28年
●令和6年度 学校長	阿世比丸 一樹
●令和6年度 PTA会長	福永 尚美
● http://www.onomichi.ed.jp/miki-j/	

●沿革史: 昭和22年美ノ郷村立美ノ郷中学校として創立。昭和24年広島県御調郡学校組合立中部中学校設置。昭和28年PTA設立。昭和29年「尾道市立美木中学校」と校名変更。平成10年新校舎・アリーナ(体育館)完成。平成26年美木中学校と原田中学校が統合

●特色: 学校教育目標【自立貢献】自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒の育成を掲げ、生きる力を育んでいく教育活動に取り組んでいます。本校のPTA(育友会)は本部役員を中心に、学年教育部・広報部・体育部・生活部の4つの専門部を有し、関係団体との連携を深めながら、学校・保護者が一体となり、活動しています。





尾道市立高西中学校・PTA

●所在地	尾道市高須町3467番地1
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和24年
●令和6年度 学校長	吉用 和弘
●令和6年度 PTA会長	秦 弥紀
●http://www.onomichi.ed.jp/takanishi-j/	

●沿革史：沼隈郡学校組合立高西中学校として昭和22年に鶴羽ヶ丘に開校しました。昭和55年現在の地に移転しました。昭和56年には体育館、平成16年には北校舎、そして令和7年3月に新校舎が完成し、生徒数の増加に対応しています。

●特色：学区は、尾道市の東部に位置し、平成8年、JR東尾道駅開業後、急速に住宅地・商業地として発展続けています。生徒達は「静まるときは整然と、はじけるときは思い切り」を合言葉に、メリハリのある学校生活をおくっています。PTAは、コロナ禍を経て委員会の役割を見直し、教養委員会、体育委員会、学校行事サポート委員会の3つを中心に、全体が協力しながら楽しく活動しています。



尾道市立浦崎中学校・PTA

●所在地	尾道市浦崎町2842番地
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和24年
●令和6年度 学校長	高橋 敦志
●令和6年度 PTA会長	檀上 泰晴
●http://www.onomichi.ed.jp/urasaki-j/	

●沿革史：昭和22年沼隈郡浦崎村立浦崎中学校として設立。開校時は浦崎小に併設。昭和30年に新田内海の埋立地に移転。昭和32年尾道市編入に伴い尾道市立浦崎中学校と改称。昭和45年体育館、昭和51年プール、平成元年現校舎完成によりほぼ現在の施設となる。

●特色：浦崎町は沼隈半島西端の町で、尾道市東端に位置し、三方を海に囲まれた風光明媚な場所である。入り江の干潟には渡り鳥が飛来し、美しい自然と人情の厚い土地である。平成元年に落成した現校舎は、床面や廊下に木を多用する暖かみのある造りで、潮風にそよぐ庭園とともに落ち着いた雰囲気醸成している。生徒はこの風土の中で地域に学び、小学校・こども園との共同行事等を通じ、自主・自立・創造・共生の充実を目指している。



尾道市立百島中学校・PTA

●所在地	尾道市百島町489番地
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	坂本 直美
●令和6年度 PTA会長	四宮 充
●https://momoshimajhs.jimdofree.com/	

●沿革史：昭和22年広島県沼隈郡百島村百島中学校開校（4月15日）、尾道市立百島中学校と改称（尾道市と合併）。平成12年百島小学校と百島中学校が併設校となる。（令和5年度から百島小学校は休校中）

●特色：現在小学校が休校中ではあるが、本校は平成12年度より始まった広島県で初めての小・中学校併設校である。併設校の特色を生かし、幼・小・中連携教育を各教科や総合的な学習の時間に取り入れている。生徒会・児童会行事、地域行事への参加等、様々な活動を幼稚園・小学校・中学校合同で行ってきた歴史がある。また、教職員の協働による研究を進め、「ふるさとを礎に、たくましくしなやかに生きる子供の育成」をめざしている。



尾道市立向東中学校・PTA

●所在地	尾道市向東町8885番地21
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和24年
●令和6年度 学校長	濱原 光伸
●令和6年度 PTA会長	秋元 敏宏
●https://mukaihigashi-j.jimdofree.com/	

●沿革史：昭和22年4月1日 御調郡向島東村立向島東中学校として設立。昭和29年4月1日向東町立向東中学校と改称。昭和45年4月1日尾道市立向東中学校と校名変更。

●特色：向東中学校は、尾道市向島の東部に位置し、住宅地が広がると共に、海に囲まれた自然豊かな風光明媚な地域です。PTAは、クラス委員会、安全委員会、花いっぱい委員会、地域イベント委員会、役員選考委員会があり、それぞれの委員会が活発に活動しています。また、地域行事にも積極的に参加しています。向東小中連携コミュニティスクールとして地域諸団体と協働しながら、生徒の教育や教育環境の整備に取り組んでいます。



尾道市立御調中学校・PTA

●所在地	尾道市御調町高尾93番地
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和46年
●令和6年度 学校長	内海 智子
●令和6年度 PTA会長	西原 伸
●http://www.onomichi.ed.jp/mitsugi-j/	

●沿革史：昭和22年の新制中学校発足以来、東部中学校、御調町立第一中学校、御調町三原市立中学校組合立御調中学校として、それぞれ沿革をたどる。昭和44年に名目統合を実施し、御調町立御調中学校と校名変更し、昭和46年に現在地に移転を完了し、現在に至る。

●特色：御調中学校は、尾道市の北部に位置し、豊かな自然に恵まれた環境の中にある学校です。校訓である「自主・協同・勤労」の具現化を目指し、広島県立御調高等学校と地域連携型中高一貫教育校として、教育活動をしています。また、PTA活動も盛んで、子供たちのため様々なことに取り組んでいます。中でも「ナイトスクールアドベンチャー」は夜の学校をミッションをクリアしながら冒険するイベントで、100家庭数に対して約180名の参加がありました。



尾道市立向島中学校・振学会

●所在地	尾道市向島町16058番地20
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和46年
●令和6年度 学校長	岡野 大助
●令和6年度 PTA会長	安保 英樹
●http://www.onomichi.ed.jp/mukaishima-j/	

●沿革史：本校は昭和22年に向島西中学校として創立され、昭和24年には岩子島中学校・立花中学校と統合。同年、現在地に新校舎が竣工され、学校組合立として開校式を挙行し、現在の形の向島中学校となりました。

●特色：本校は向島北部に位置しており、校舎からは尾道水道や対岸の千光寺を一望することができます。朝夕の元気な挨拶や部活動の歓声は校内に響き、純粋で明るく活発な雰囲気を醸し出しています。本校振学会は執行委員会、常任委員会、文化部、補導部、保健体育部、学年委員会が構成されており、校訓である「強く 正しく 明るく 役立つ 人」の具現化を目指して、学校と保護者、地域が一体となって、未来を拓く力を備えた生徒の育成に取り組んでいます。





尾道市立因島南中学校・PTA

●所在地	尾道市因島土生町1172番地1
●学校設立	平成22年4月
●PTA設立	平成22年4月
●令和6年度 学校長	金子 浩之
●令和6年度 PTA会長	上杉 清華
● http://www.onomichi.ed.jp/innoshimaminami-j/	

●沿革史：平成22年より、田熊中学校、土生中学校、三庄中学校が統合新設され、因島南中学校として開校。併せて、PTAも発足。今年度15周年を迎える。ミッションは「地域に誇れる学校づくり」。

●特色：本校区は、瀬戸内海に浮かぶ村上水軍ゆかりの島『因島』の南部に位置し、造船業と造船関連の製造業を主な産業とし、柑橘栽培を中心とする農業、近海漁を営みとする漁業、さらには商業が混在する地域です。

『ふるさと学』を掲げ、ふるさとを「知る」「感じる」「考える」を3年間の流れとして展開しています。卒業時に行う「ふるさとへの提言」を更に充実させ、積極的に発信し、地域が誇る学校づくりをめざしています。



尾道市立因北中学校・PTA

●所在地	尾道市因島中庄町4405番地1
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和27年
●令和6年度 学校長	植中 朋子
●令和6年度 PTA会長	井上 康弘
● http://www.onomichi.ed.jp/inhoku-j/	

●沿革史：昭和22年：御調郡中庄村立中庄中学校設立、昭和27年：御調郡学校組合立因北中学校へ校名変更・因北中学校PTA結成、昭和28年：市政に伴い因島市立因北中学校へ校名変更、平成18年：尾道市との合併に伴い尾道市立因北中学校へ校名変更。

●特色：因北中学校PTAは、学校・家庭・地域における生徒の福祉を増進すること等を目的として活動している。

毎年、実行委員・学級委員等が選出され、委員及び教職員をもって専門部を構成している。専門部には、教育文化部・福祉厚生部・保健体育部・学年部の4つの部会があり、PTA活動の目的を達成するため、それぞれの任務を担っている。



尾道市立重井中学校・PTA



●所在地	尾道市因島重井町651番地2
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和27年
●令和6年度 学校長	平田 恭子
●令和6年度 PTA会長	村上 誠司
● https://shigeijhs.jimdofree.com/	

●沿革史：昭和22年：御調郡重井村立重井中学校設立（初代校長 宮田浩蔵）、重井中学校PTA発足、昭和28年：因島市政に伴い因島市立重井中学校へ校名改称、平成18年：尾道市との合併に伴い尾道市立重井中学校へ校名改称、現在に至る。生徒数25名、3学級。

●特色：重井町は「にほんの里100選」に選ばれました。重井町のモットーは、「安全・安心・笑顔のまちづくり」です。重井中学校は、この町づくりの中で、見守られ支えられています。また、「白滝山」を借景とする景勝地に位置しています。令和3年度からは「ユネスコスクール・キャンディデート校」として、環境・防災・福祉・人権・平和・国際交流等の学習活動に積極的に取り組み、様々な分野の人たちと出会う中で、見識を広めるなど、少人数の特色を生かした教育に、地域と共に取り組んでいます。



尾道市立瀬戸田中学校・PTA

●所在地	尾道市瀬戸田町中野404-3
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和27年
●令和6年度 学校長	小原 正啓
●令和6年度 PTA会長	池田 洋
● http://www.onomichi.ed.jp/setoda-j/	

●沿革史：昭和22年、豊田郡瀬戸田町立瀬戸田中学校として設立。平成18年、市町村合併に伴い尾道市立瀬戸田中学校に改名。平成25年尾道市立生口中学校と統合。令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰。

●特色：校訓は「実行の人」である。PTA活動は無理のないようにと、集まる回数を減らし、活動も本部役員を中心に、ボランティアを呼びかけ取り組んでいる。島内に、小学校、中学校、高校が一校ずつあるので、小中高連携の深化を目指し、毎年、小中高合同公開研究会を開催し、令和6年度で6回目を迎えている。PTAも小学校、中学校、高校の代表で、瀬戸田中ブロックPTA連合会を組織している。



～ 令和6年度に周年記念を迎えた学校の一コマ～



西藤小学校150周年の様子



因島南小学校10周年の様子

令和6年度にて閉校となる学校の紹介



尾道市立久保小学校・育友会

●所在地	尾道市防地町2番40号
●学校設立	明治6年
●PTA設立	昭和47年
●令和6年度 学校長	土井 尚美
●令和6年度 PTA会長	小川 玲香
●http://www.onomichi.ed.jp/kubo-e/	

●沿革史：明治6年に開校し、明治30年に東久保町に校舎を移し、昭和32年に尾道市内で初の25メートルプールが設置されました。令和3年に現在の久保中学校敷地に移り、令和7年3月末で閉校します。令和5年には開校150周年を迎えました。

●特色：令和7年度の学校再編を控え、久保小学校の伝統を受け継ぐとともに、久保・筒湯地域の人々や事象に触れる学習を多く取り入れることを通して、地域の魅力を語り、発信できる子供達の育成を児童、教職員、地域の方と力を合わせ、知恵を出し合いながら、久保小学校の魅力を発見・創造し、「学ぶ喜びと感動のある学校」を創っています。



閉校に際して

151年の長きにわたり、本校に関わったすべての方々に心より感謝申し上げます。久保小学校は閉校しますが、新たな尾道みなと小学校でも久保の子供らしく、たくましく元気に育ってほしいと願っています。



尾道市立長江小学校・育友会

●所在地	尾道市長江3丁目10-4
●学校設立	明治41年
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	加登谷 州章
●令和6年度 PTA会長	安部 昭一郎
●http://www.onomichi.ed.jp/nagae-e	

●沿革史：明治41年4月に第三尾道尋常小学校として設立され、大正9年には長江尋常小学校、昭和16年には尾道市立長江国民学校との改称を経て、昭和22年より現在の尾道市立長江小学校となり、令和7年で117周年を迎えます。

●特色：学校教育目標「心豊かにたくましく生きる長江っ子の育成」を掲げ、「歴史・伝統・誇りを胸に未来へ輝け長江っ子！」をスローガンにして、日々の積み重ねを大切に取組を進めています。また、ええじゃん踊り4連覇、ソフトボール部・陸上部等でも多くの賞を獲得し、文武両道を目指しています。保護者や地域の学校への関心は高く、とても協力的で、多くの育友会事業を毎年開催しています。これらの素晴らしい伝統を3校で融合させるかたちで、「尾道みなと小学校」に引き継いでいきます。



閉校に際して

令和7年度から長江小学校は統合され、久保小学校と土堂小学校の伝統・文化と大きく豊かな化学反応を起こして、輝ける“尾道みなとっ子”を育成していく小学校として新しい歩みを進めてまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。



尾道市立土堂小学校・育友会

●所在地	尾道市西土堂町18番6号
●学校設立	明治33年
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	土居 理恵
●令和6年度 PTA会長	村上 優美
●http://www.onomichi.ed.jp/tsuchido-e	

●沿革史：明治33年6月1日に尾道第二尋常小学校として設立され、昭和22年現在の尾道市立土堂小学校となり、令和3年8月1日千光寺仮校舎に移転。その後、残念ながら令和7年3月31日をもって創立124年で幕を閉じることとなりました。

●特色：本校の育友会は、学校・地域との連携を深め、教育効果が一層高まることを願い精力的に活動している。育友会活動は活発で、主に次のような5つの委員会活動をしている。(1) 総務・広報委員会 (2) 子ども会・子ども生活委員会 (3) 体育委員会 (4) 保健・厚生委員会 (5) 文化委員会 全保護者が参加し、子供たちの成長を見守っている。



閉校に際して

これまで土堂小学校を、そして子供たちを、慈しみ温かく育てていただいた皆さまに、感謝申し上げます。新たにできる尾道みなと小学校が、素晴らしい学校になることを祈っております。

令和6年度にて閉校となる学校の紹介



尾道市立久保中学校・PTA



●所在地	尾道市防地町22-40
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	三浦 敏忠
●令和6年度 PTA会長	三好 幸子
● https://kubo-j.jimdofree.com/	

●沿革史：昭和22年創立、東高校・久保小・簡湯小の校舎を借りて授業を行う。昭和38年現在の地に校舎を移転する。平成29年新体育館落成、創立70周年記念式典を行う。令和6年度を以て閉校となり、令和7年度より長江中学校と統合し、尾道みなと中学校となる。

●特色：本校は、尾道三山のうち愛宕山、瑠理山に面し、眼下には尾道水道を望む風光明媚な学校です。生徒数の減少に伴い、現在は、学年2クラスの小規模校ですが、「本気・挑戦・愛掬」を合い言葉に、仲間と協力し、誰かの役に立つことで、自分の良さを発見しつつ、日々の授業や学校行事等にも主体的に取り組んでいます。特に体育大会等の行事は3年生を中心として盛り上がります。久保小学校と敷地を共有し、お互いの良さを認め合いながら学校生活を送っています。



閉校に際して

久保中学校は令和6年度をもって78年間の歴史に幕を下ろし、令和7年度からは尾道みなと中学校としてスタートします。統合しても、仲間を大切にし、最後まで諦めない生徒を育成する姿勢は大切にしていきたいです。

尾道市立長江中学校・育友会



●所在地	尾道市長江3丁目10番4号
●学校設立	昭和22年
●PTA設立	昭和22年
●令和6年度 学校長	播磨 寛宗
●令和6年度 PTA会長	松本 三佐子
● http://www.onomichi.ed.jp/nagae-j/	

●沿革史：昭和22年4月1日に開校。同年6月6日に育友会が発足。学校教育目標は「凛とした『元気・感動・温もり』のある生徒の育成」。創立78年目に当たる令和7年3月に閉校。

●特色：尾道市立長江中学校は、千光寺公園の麓にあり、落ち着いた風情を感じられる町並みの中にある学校です。生徒は主体的に学習に取り組み、また部活動や生徒会活動、ボランティア活動にも精一杯打ち込むなど、充実した学校生活を送っています。育友会活動も盛んに行われ、様々な行事で生徒を全面的にバックアップしています。このような環境の中で、生徒はそれぞれの夢に向かって、一生懸命頑張っています。

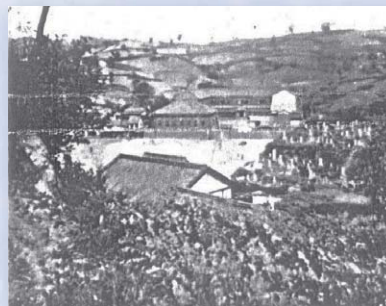


閉校に際して

長江中学校の教育活動に携わって下さった全ての方に、心から感謝申し上げます。本校は令和6年度で閉校しますが、78年の長い歴史の中で培われてきた「長江プライド」は、尾道みなと中学校にも引き継がれます。尾道みなと中学校教育に、どうぞご期待下さい。



久保中学校



創立時(1947年)の長江中学校遠景
【1950年2月頃】



長江中学校校歌 歌詞原稿
「海の声われを呼ぶ」作詞/木下夕爾 作曲/岡本敏明



令和2年度 ~コロナに負けるな!~

《主な事業内容》

- 定例総会および年度末総会(書面決議)
- 広報紙の発行
- 教育に関する要望書の提出(市長・議長・教育長宛)
- アルコール消毒液、フットペダル式消毒液スタンドを各校に配布
- シトラスリボン活動(リボン配布)



アルコール消毒液、フットペダル式消毒液スタンドを各校に配布

令和2年度 組織図

会長	明上 浩之
副会長 筆頭	高橋 武也
副会長 総務部	平本 邦彦
副会長 安全部	安本 皇
副会長 文教部	添田 文
副会長 広報部	吉浦 史貴
副会長 おやじ部	酒井 忠徳
副会長 母の会さくら	村上 節子
書記	三好 幸子
書記	浅井 友浩
書記	木曾 一美
書記	麓 亜由美
会計	川本 美智子
会計	光永 高広
会計監査	後藤 和秀
会計監査	赤坂 雅士
会計監査	檀上 朋宏
事務局 教頭会	神原 芳則
事務局員	大工谷 純可

令和3年度 ~with コロナ~

《主な事業内容》

- 定例総会および年度末総会(書面決議)
- 広報紙の発行
- 教育に関する要望書の提出
(市長・議長・教育長宛)
- シトラスリボン クリアファイル配布



シトラスリボン
クリアファイル
配布

シトラスリボン
バッジ



令和3年度 組織図

会長	吉浦 史貴
副会長 筆頭	安本 皇
副会長 総務部	工藤 孝之
副会長 安全部	檀上 朋宏
副会長 体育部	平本 邦彦
副会長 文教部	本村 勝信
副会長 広報部	村上 純平
副会長 おやじ部	吉居 伯武
副会長 母の会さくら	添田 文
書記	三好 幸子
書記	浅井 友浩
書記	麓 亜由美
書記	細谷 博美
会計	川本 美智子
会計	光永 高広
会計監査	後藤 和秀
会計監査	佐藤 則清
会計監査	檀上 信彦
事務局 教頭会	金子 恵子
事務局員	大工谷 純可

令和4年度 ~星空映画祭 スタート!~

《主な事業内容》

- 定例総会(書面決議)および年度末総会
- 広報紙の発行
- 教育に関する要望書の提出
(市長・議長・教育長宛)
- 星空映画祭主催(市内17ヶ所にて開催)
- 規約改正



令和4年度 組織図

会長	吉浦 史貴
副会長 筆頭	安本 皇
副会長 総務部	工藤 孝之
副会長 安全部	岸上 幸由
副会長 体育部	檀上 朋宏
副会長 文教部	本村 勝信
副会長 広報部	村上 純平
副会長 おやじ部	吉居 伯武
副会長 母の会さくら	添田 文
書記	三好 幸子
書記	浅井 友浩
書記	前田 利佳
書記	吉原 友美
会計	川本 美智子
会計	岩下 美穂
会計監査	後藤 和秀
会計監査	檀上 信彦
事務局 教頭会	金子 恵子
事務局員	大工谷 純可

星空映画祭主催(市内17ヶ所にて開催)



令和5年度 ～コロナ禍を経て、本当に必要とされる活動を！～

《主な事業内容》

- 定例総会および年度末総会
- 広報紙の発行
- 教育に関する要望書の提出(市長・議長・教育長宛)
- 第71回日本PTA全国研究大会広島大会 特別第2分科会担当
- 親睦ソフトバレーボール大会(当番制の廃止後、初の大会開催)

開催日9月10日(日)

大会成績

- ガチリーグ 優勝 百華繚乱(美木中)
- ガチリーグ 準優勝 チーム長江(長江中)
- ガチリーグ 第3位 吉和鳴滝(吉和小)
- ゆるリーグ 順位なし

- ビバ!青春!!学校へ泊まろう!2023~真夏のワクワク体験ツアー!~
- 星空映画祭共催



令和5年度 組織図

会長	吉浦 史貴
副会長 筆頭	安本 皇
副会長 総務部	工藤 孝之
副会長 安全部	檀上 朋宏
副会長 体育部	岸上 幸由
副会長 文教部	本村 勝信
副会長 広報部	村上 純平
副会長 交流推進部	吉居 伯武
副会長 交流推進部	添田 文
書記	三好 幸子
書記	前田 利佳
会計	岩下 美穂
会計	國本 一行
会計監査	檀上 信彦
会計監査	浅井 友浩
事務局員 教頭会	福島 健作
事務局員	大工谷 純可

親睦ソフトバレーボール大会



ビバ!青春!!学校へ泊まろう!2023~真夏のワクワク体験ツアー!~



星空映画祭





令和6年度 ～すべては子どもたちの笑顔のために～

《主な事業内容》

- 市P連定例総会および年度末総会
- 市P連広報紙の発行
- 能登半島地震募金活動および支援メッセージ活動
- 教育に関する要望書の提出(市長・議長・教育長宛)
- ビバ!青春!!学校へ泊まろう!2024～真夏のドキドキ冒険譚!～
- 星空映画祭共催
- 親睦ソフトバレーボール大会
 - 開催日9月15日(日)
 - 大会成績
 - Aブロック
 - 優勝 RAV-4(美木中)
 - 準優勝 みなりスターズ★(三成小)
 - Bブロック
 - 優勝 因北小A(因北小)
 - 準優勝 高西中B(高西中)
 - Cブロック
 - 優勝 親玉(日比崎小・日比崎中)
 - 準優勝 西藤B(西藤小)
 - Dブロック
 - 優勝 百花繚乱(美木中)
 - 準優勝 NAGAEガチ(長江中)
 - エンジョイリーグ表彰チーム(下位2チームを表彰)
 - プリティプロッコリーズ(高須小)・みゆきのトマト達(三幸小)
- ビバ!青春!!観劇へ行こう!2024～感動体験!劇団四季バスツアー!～
- 尾道市PTA連合会75周年記念誌作成
- 尾道市PTA連合会75周年記念事業でクリアファイル作成
- PTA会長意見交換会

令和6年度 組織図

会長	工藤 孝之
副会長	筆頭 本村 勝信
副会長	総務部 吉居 伯武
副会長	安全部 宮地 寛行
副会長	体育部 長谷部 栄太郎
副会長	文教部 檀上 朋宏
副会長	文教部 峯松 幸平
副会長	広報部 浅井 友浩
副会長	交流推進部 安本 皇
副会長	交流推進部 添田 文
書記	竹田 昌美
書記	川野 沙織
会計	梶矢 哲博
会計	大瀬戸 亮一
会計監査	檀上 信彦
会計監査	井上 智仁
事務局長	教頭会 砂田 文美
事務局員	大工谷 純可



親睦ソフトバレーボール大会



ビバ!青春!!観劇へ行こう!2024～感動体験!劇団四季バスツアー!～

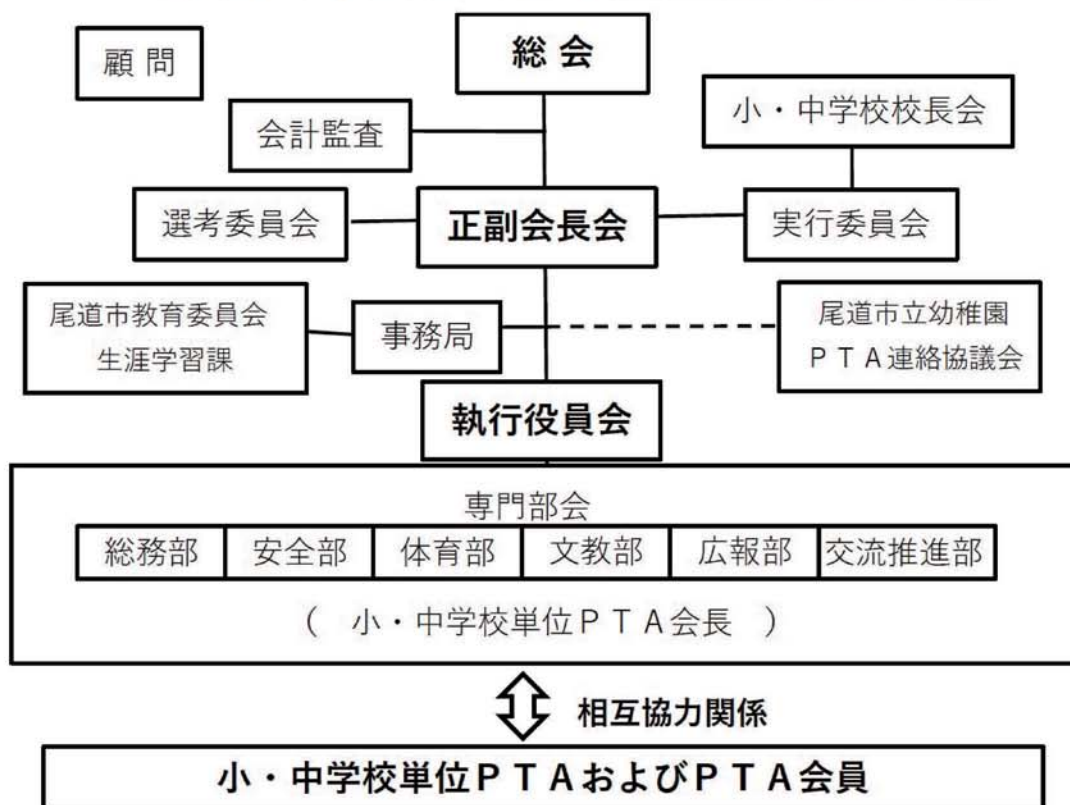
PTA会長意見交換会 他



定例総会

能登地震募金

令和6年度 尾道市PTA連合会 組織図



令和6年度 尾道市PTA連合会役員名簿

【正副会長】

《会 長》工藤 孝之（高須小）
 《筆頭副会長》本村 勝信（三幸小）
 《総務部副会長》吉居 伯武（美木中） 《安全部副会長》宮地 寛行（高須小）
 《体育部副会長》長谷部 栄太郎（浦崎小） 《文教部副会長》檀上 朋宏（浦崎中）・峯松 幸平（重井小）
 《広報部副会長》浅井 友浩（向島中） 《交流推進部副会長》安本 皇（日比崎小）・添田 文（御調中央小）
 《会計》梶矢 哲博（向東中）・大瀬戸 亮一（長江中） 《監査》檀上 信彦（浦崎小）・井上 智仁（吉和小）
 《書記》竹田 昌美（三成小）・川野 沙織（栗原中）

【役員（各PTA会長）】

<小学校（順不同）>

《久保》小川 玲香 《山波》川上 真司 《長江》安部 昭一郎 《土堂》村上 優美 《栗原》細谷 崇
 《栗原北》寺本 裕樹 《吉和》岡田 哲明 《日比崎》加度 亮平 《三成》井田 和宏 《美木原》辻川 季巳
 《西藤》熊野 真綾 《浦崎》佐藤 哲久 《向東》鎰 徹 《御調中央》野田 育美 《御調西》福田 賢治
 《高見》高野 哲成 《向島中央》平尾 友哉 《因島南》廣康 千春 《因北》杉原 麻衣子 《重井》野田山 晃和
 《瀬戸田》原田 充明

<中学校（順不同）>

《久保》三好 幸子 《長江》松本 三佐子 《栗原》松原 正侍 《吉和》榊原 靖貴 《日比崎》杉 裕子
 《美木》福永 尚美 《高西》秦 弥紀 《浦崎》檀上 泰晴 《百島》四宮 充 《向東》秋元 敏宏 《御調》西原 伸
 《向島》安保 英樹 《因島南》上杉 清華 《因北》井上 康弘 《重井》村上 誠司 《瀬戸田》池田 洋



記念誌制作実行委員長
本村 勝信

実行委員長挨拶

尾道市PTA連合会結成75周年、保護者の皆様のご理解と多くの方のご協力により、無事迎える事が出来た事を大変嬉しく思います。

後世に伝える為の記念誌を発行する事が出来ました事、市長を始めとする御来賓の方々の御祝辞を頂戴いたしました事、実行委員長として心より御礼申し上げます。

記念誌発行にあたり、70周年以降を改めて振り返ると、新型コロナウイルスの騒動から始まった5年前でした。これまでの行事が出来なくなる中、何か出来ることは無いかと、消毒液配布、シトラスリボン啓発活動と行って来ました。

当時の子どもたちの日々耐えている姿は、我々大人よりも辛かったように記憶しています。

すべては子どもたちの笑顔のために、令和4年、星空映画祭を開催した時の多くの子どもたちの顔はとても素敵なものでした。新たな行事も始め、子どもたちに多くの楽しい場を提供出来たと思います。

この度結成75周年記念品としてクリアファイルの作成も同時に行ないましたが、どの行事でも、写真を見返すと、子どもたちはとても良い顔です。この顔を見るために、PTAやっているんだなと、再認識させていただきました。

私達の姿を見て育った今の子どもたちが、親となったときに思い出し、そして、その子どもたちにとっても素晴らしいPTAであり続ける事を願っております。

諸先輩方が作ってこられた尾道市PTA連合会を、今を生きる子どもたちの為、次代の子どもの為、残して行く事こそが我々の使命だと考えています。

最後に次代を担う子どもたちへ

私達はみんなが笑ってくれることがうれしいです。

楽しんでる姿が見たくて、頑張れています。

みんなが大人になった時、PTAで楽しかった事を子どもたちに与えてあげてください。

そうやって続けてきた75年です。

楽しいは正義！

100年先も変わらないと思います。

いつまでも子どもたちの為の尾道市PTA連合会であることを願って、実行委員長挨拶とさせていただきます。



編集後記

編集を通じて5年間の活動を振り返る中で、コロナ禍が活動に大きな影響を与えたことを改めて感じています。活動の制限や新たな課題など、多くのことを考えさせられる5年間でしたが、その中でも写真に写る子どもたちの笑顔は、やはり私たちに力と希望を与えてくれます。

私たちの活動の原点は、「子どもたちの笑顔のために」ということ。この原点を胸に、これからも決して平坦ではない道のりを歩んでいく決意を新たにしました。笑顔と未来のために、これからも汗をかき、活動を続けていきます。

文尾に今回の編集にご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

75周年記念誌制作実行委員 梶矢 哲博





結成75周年記念誌
すべては子どもたちの
笑顔のために

発行 令和7年2月
編集 75周年記念誌制作実行委員会
発行者 尾道市PTA連合会
<https://onomichi-pta.net/>
印刷 Office プラスOne



尾道市PTA連合会
ホームページ

表紙題字 工藤 孝之(尾道市PTA連合会会長)

尾道市PTA連合会 75周年記念誌制作実行委員会
本村 勝信・浅井 友浩・梶矢 哲博・大瀬戸 亮一・竹田 昌美・川野 沙織

